国頭地区意見発表大会
最優秀賞　おめでとう！

第 45 号
校長 久高利美子

十四日（水）今帰仁村において、地区ＰＴＡ連合会主催、第二十六回国頭地区中学校意見発表大会が開催されました。男子は今帰仁中学校、女子は今帰仁村コミュニティーセンターで行いました。男子の部に、名護市代表として本校2年生の樽見樹さんが出場し、見事最優秀賞を獲得しました。おめでとうございます。十二月には県大会が本部町で開催され、地区代表として出場します。樹さんの意見文を紹介します。

意志を持って取り組む」　樽見　樹

自分から逃げるな。あきらめるな。」

この言葉は小学六年生の時に剣道の先生から厳しく何度も言われた言葉です。

私は小学三年生の頃から、従兄弟の影響で剣道を始めました。始めた頃は地区大会でも毎回良い成績を残し、稽古にも楽しく取り組んでいました。しかし、高学年になってバスケットボールを始めると、稽古に向き合えなくなり、結果も残せなくなっていきました。そんな私を変えたのが「自分から逃げるな、あきらめるな。」という先生の言葉でした。

はじめはそう言われても何を改善すればいいのか、全くわかりませんでした。だって、稽古にも参加しているし、言われたとおりにやっているし…。それが本音でした。そんな時、私は下級生の指導をすることになりました。稽古の様子を見ていると、課題が見えてきました。みんな言われたとおりに稽古をしていましたが、何も考えずにただやっているだけなので、なかなか上達しないのです。そして、それは、そのまま、自分の課題であることに私は気づきました。なぜその稽古が必要なのか、私自身も何も考えていなかったのです。稽古に参加はしていても、与えられたものをこなすだけで、剣道の技もまんべんなく一通りできればいいだろうという考えでした。

それから私は、自分に必要なことを常に考え、「今、この時」に全力で取り組むことを心がけました。意識が変わると行動も変わります。行動が変わると自ずと結果もついてきます。私も剣道だけでなく、勉強や部活動でも結果を残せるようになってきました。

この経験から、私は、今自分がやっていることの意味や必要性を意識し、自分の意志を持って取り組むことの大切さを学びました。皆さんはどうですか。勉強や部活動など、自分の意志をもって取り組んでいますか。もしかすると、なぜ勉強や部活動をするのか何も考えずに毎日を過ごしている人もいるかもしれません。私も以前はそうだったので、気持ちは理解できます。けれども、意志をもって取り組むことで、目標を達成することにつながると、今の私なら自身をもっていうことができます。「どうせやってもできないし。」以前、私もこんな言葉をよく使っていました。しかし、できないことをできるようにするために、今何をすればいいのか、それを考えて行動することが大事なのです。

今、世の中はどんどん変化しています。私達中学生が、大人になる頃には、ロボットやＡＩの発達で社会も大きく変わるといわれています。そんな変化の激しい社会で生きていくために、課題や目標を明確にして一日一日を過ごすことが大事なのです。一つ一つ階段を上がるように、今自分がやること、やるべきことをしっかり意識して意志を持って取り組んでいけば、夢をつかみ取ることができると思います。そして、自分らしい人生を歩むことができると思うのです。

私は、これから先、どんなことがあっても逃げず、あきらめずに自分らしい人生を自分の意志をもって歩んでいきます。